

## 電気亜鉛めっき鋼板の表面処理（続） （クロメートとユニクロ）

前回に引続き亜鉛めっき鋼板の防錆処理のひとつであるクロメート処理について少し詳しく述べてみます。

- ◎ 亜鉛めっき後、クロム酸などに浸漬することによって、亜鉛の表面にクロム酸亜鉛 ( $Zn Cr O_4$ ) などの薄い被膜を形成させることを、クロメート処理といい、その時の条件によって有色クロメート（通称**クロメート**）や光沢クロメート（ユニクローム）に分れます。
- ◎ ユニクローム（通称**ユニクロ**）は本来、クロームめっきの外観、色調の代用として開発されたもので、亜鉛の表面に強制的にごく薄く、酸化層やクロム酸亜鉛層を形成させると、光沢亜鉛めっきの色にやや青味を帯びたクロームに似た銀色になります。
- ◎ 従ってクロメートの場合の様に金色を帯びるまでクロム酸被膜を施した方が、ユニクロの場合より被膜が厚く緻密で防錆力に優れて居ります。
- ◎ J I S - H 8 6 1 0 に定めてあるクロメート被膜の耐蝕性は、規定の塩水噴霧試験を行い、表面に72時間以内に白色腐蝕生成物（白錆）が出てはならない、とされ装飾を目的とするものは（ユニクロはこの傾向が強い）試験を行わない、と規定されています。これは耐蝕性が主目的のクロメートと美観が主な目的のユニクロでは比較にならぬからであります。

※以上からめっき本来の主目的である防錆力からみると、**クロメートが優れている事がわかります**。ネグロス製品は現在両方が使われていますが、特に**美観を要する製品以外は逐次クロメートに変更して行きます**。

管支持金具 **ハイラック®**

**ケーブルラック** パイプハンガー **ワールドクワ-**®

ケーブル支持金具 **FVラック®** 照明器具取付工事用 **レースウェイ**

〈N〉ネグロス電工株式会社

その他多品種  
あります。